

仙台市政策重点化方針2020（中間案）に寄せられたご意見と本市の考え方

●「第3章 政策重点化方針」に関するご意見（14件）

No.	ご意見等	本市の考え方
1	杜の都といわれながら市街地に緑が多くない。もっと緑を増やす施策が必要と思われる。	本市基本計画に基づき、「自然と調和し持続可能な環境都市づくり」の一環として、恵み豊かな自然環境を守り、緑と水のネットワークの形成を推進してまいります。
2	被災者の生活の再建は最重要課題であるが、海岸地区に「波止」という地名があり昔の地名を掘り起し参考にするのも一つの手と思う。	「戦略プロジェクト（1）防災環境都市づくり」を進める取り組みにおきまして、参考とさせていただきます。
3	コンベンション都市を目指すといっているが市民の日常生活に力を入れるべきで特に必要としない。	多くの方々が本市を訪れるコンベンション開催は、観光産業のみならず運輸・交通、飲食、印刷、食品製造、各種小売など、様々な産業分野に波及します。市民の日常生活を支える地元経済の活力維持、増進のためにも、世界も視野に入れた交流人口拡大を推進することが重要と考え、「○国内トップクラスのコンベンション都市の推進」を「戦略プロジェクト（4）まちに賑わいをもたらす新時代の交流促進」に位置づけたところです。
4	27ページ（5）まちの活力の源泉となる人材の定着・確保推進の方向性5点は、とても素晴らしいと思います。この方向性を実現するためには、市の外部組織のような形で、まちの活性化のノウハウを知り尽くした人材を集めた部署を立ち上げ、スピード感を持って実践していくことが望まれると考えます。ボランティアばかりでは継続困難なので、実績のある方々特に若い年代の人材を確保育成して本格的に取り組んで欲しいと思います。「東西線まちづくり市民応援部」の発展形のような組織を仙台市の未来に向けて立ち上げて欲しいです。	「戦略プロジェクト（5）まちの活力の源泉となる人材の定着・確保推進」を進める過程におきまして、具体的な取り組みの参考とさせていただきます。
5	子供は宝とよくいわれるが、子供の育成にはもっと力を入れる必要がある。	「戦略プロジェクト（6）未来につなぐ子どもを育む環境づくり」において、子どもたちがたくましく生きていく力を育むため、幼児期から社会人になるまでの学校教育段階間の連携・接続の一層の充実を図り、切れ目のない教育を推進することとしております。また、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育成する体制等の整備に向けた取り組みを進めてまいります。
6	（6）未来につなぐ子どもを育む環境づくり について 「子どもたちがたくましく生きていく力を育むため」にも、	「戦略プロジェクト（6）未来につなぐ子どもを育む環境づくり」の「○幼児期からはじまる切れ目のない教育の推進」において、学校・

No.	ご意見等	本市の考え方
	<p data-bbox="416 197 949 225" style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">地域の中で遊び育てる環境づくりの視点を</p> <p data-bbox="215 269 1189 336">本項目の冒頭の「変化の著しい社会においても子どもたちがたくましく生きていく力を育むため」と課題設定は重要なものと思います。</p> <p data-bbox="215 344 1189 531">この課題の改善のためには、子どもが子ども時代に学校のみならずさまざまな場で多様な経験をできることが重要です。私たち大人は体験的にわかっているように、地域の中で世代を超えて思いっきり遊び、時には失敗もしながら、また多くの人と出会いながら、学校の中だけでは学べない多くのことを学んできたものと思います。</p> <p data-bbox="215 539 1189 687">しかしながら、本中間案においては、「たくましく生きていく力を育む」という視点は持っているものの、その記述は「幼児期からはじまる切れ目のない教育の推進」と、「教育」の側に特化しています（もちろん「地域ぐるみで」という視点はありますが）。</p> <p data-bbox="215 695 1189 804">ぜひ、「子育て環境の充実」の側に、「子どもたちが地域の中で遊びながら多様な経験をし、たくましく生きていく力を育めるようにする」という趣旨の記述を入れることを提案します。</p> <p data-bbox="215 812 1189 960">本中間案では「子育て環境の充実」の側では「安全・安心な」がキーワードになっています。これは大切なことではありますが、時として「たくましく生きていく力を育む」のとは逆方向に作用することもあります。そうならないようにするためにも、記述の充実をのぞみます。</p> <p data-bbox="215 968 1189 1037">なお、仙台市は全国の中でも進んでいるといわれる冒険遊び場づくりの取り組み・発想なども参考にさせていただければと思います。</p>	<p data-bbox="1223 197 2074 424">家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育成する体制を構築し、子どもたちへの豊かな体験活動の機会の提供などによって、子どもたちがたくましく生きていく力を育むこととしております。ご提案の内容につきましては、安全・安心な子育て環境の充実との両立に配慮しながら、具体的な取り組みを検討する際の参考とさせていただきます。</p>
7	<p data-bbox="215 1048 1189 1117">仙台市の被災者に対する復興が優先されることとはいえ、他の市町村から避難している人たちへの配慮も必要と思われます。</p>	<p data-bbox="1223 1048 2074 1275">この度の東日本大震災では被災3県を中心に広域に被害をもたらしたことから、本市の仮設住宅にも他市町村で被災された多くの方々が入居しております。「戦略プロジェクト（7）多様な暮らしを支える生活環境づくり」の「○ 被災された方々一人ひとりの生活再建」において、そのような方々も含め、被災された方々への支援について今後とも引き続き取り組んでまいることとしております。</p>
8	<p data-bbox="215 1286 1189 1434">11 ページの（5）で、健康寿命延伸に向けた取り組みの必要性が挙げられていますが、29 ページ（7）の「生涯を通じて健康に暮らせるまちづくりの中で、「健康づくり活動の定着」には、財政的支援が不可欠だと思います。対象が主に高齢者だとすれば、経済的・時間的余裕も確保するためには福祉的要素も兼</p>	<p data-bbox="1223 1286 2074 1434">当該箇所については、健康寿命を延伸するには、若い世代から高齢者までの各世代を対象として取り組みを進めることが重要との認識に立ち、記述したものです。本格化する少子高齢・人口減少社会において、元気な高齢者の社会参加がまちの活力の創出にもつながるもの</p>

No.	ご意見等	本市の考え方
	<p>ね備えるべきと考えます。取り組みの方向性に盛り込んで頂くことはできないでしょうか。</p>	<p>と考えており、高齢者が元気に活動する環境づくりを推進する趣旨の記述を追加いたします。また、従来から取り組んでまいりました高齢社会への対応につきましては、引き続き重点的な取り組みとして現行の基本計画に基づき推進してまいります。</p>
9	<p>高齢者は自分自身健康寿命を延ばす事を考えるべきで市としてもっと健康寿命を延伸させる施設施策を前面に出した方がよい。</p>	<p>「戦略プロジェクト（7）多様な暮らしを支える生活環境づくり」の取り組みの方向性の1つとして「○ 生涯を通じて健康に暮らせるまちづくり」を位置づけておりますが、具体的な施設施策につきましては、費用対効果を勘案しながら、実施計画などにおきまして具体的な取り組みを検討してまいります。</p>
10	<p>（5）健康寿命延伸に向けた取り組みの必要性に関連して、特にタバコと受動喫煙の危害対策について、本課題の推進関係者の立場から意見・提案をお送りします。</p> <p>県民の健康寿命を延ばすため、また子ども・妊産婦・アレルギーなど感受性の高い方を含めた非喫煙者を受動喫煙の危害から守るために、以下意見・提案を申し述べます。</p> <p>1. タバコ（喫煙及び受動喫煙）は、早期死亡（損失寿命は数年以上）、健康寿命の短縮（数年以上；認知症などの要因ともなっている）など、健康破壊に第一の要因になっているとのエビデンスが蓄積していて、活用可能なあらゆる機会を通してその周知・対策徹底をはかっていく必要があります。全体的に、がんは勿論、循環器疾患、糖尿病、慢性腎臓病、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、周産期異常、喘息や呼吸器疾患、歯周病・口内炎や舌がん・食道がんなど凡そ万病の元ですので、それらによる経済的損失や過剰な医療費を抑制する医療費適正化の観点からもタバコ対策を、健康づくり政策の重点として最重要の一つに据えていただくよう、期待します。</p> <p>2. タバコ特に受動喫煙の危害防止について、具体的に、以下のような取り組みが望まれます。</p> <p>（1）「受動喫煙の危害防止」について、先ず公共性の高い施設と子ども・妊産婦を守ることを最優先に全面禁煙ルール（条例制定を含め）を確立して順次広げていくことを期待しています。</p> <p>（2）乳幼児・保育園・幼稚園の園児の父・母・同居家族に喫煙者が多いと報告されています。保育園の前などで喫煙をしている母親などの姿は珍しくありません。家庭での対策や啓発はもちろん重要ですが、その知識普及・周知のた</p>	<p>本市基本計画において、心身ともに健康な暮らしづくりを進めるため、健康的な生活習慣の確立に向けた情報発信や、健康的な生活習慣を早期に身につけることができるよう、学校や地域での健康づくりの取り組みの充実などを推進することとしております。また、政策重点化方針2020においては、「戦略プロジェクト（7）多様な暮らしを支える生活環境づくり」の取り組みの方向性の1つとして「○ 生涯を通じて健康に暮らせるまちづくり」を位置づけ、市民の健康寿命の延伸に向けた取り組みを進めることとしております。ご提案の内容については、具体的な取り組みの参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見等	本市の考え方
	<p>めにも、幼稚園や小中学校を含め、これら保護者への禁煙促進の働きかけや啓発・講習等に焦点を絞ったプログラムが望まれます。</p> <p>(3) 子どもだけでなく、保護者、職員、子ども施設の外来者の健康を受動喫煙の危害から守るために、また子どもたちに禁煙の模範を幼年期より示すためにも、施設敷地内の全面禁煙の徹底・遵守、また施設（園、学校、子ども関連施設等）外における催し等でも、その遵守・徹底をお願いします。</p> <p>3. 公共性の高い施設（飲食店を含め）だけでなく、家庭やマイカーでも、通学路や道路、また食堂・レストランなどでも、受動喫煙の危害から子ども達（妊産婦を含め）を守ることを最優先に、条例制定・法制定により全面禁煙ルールを確立して、順次広げていくことが必要です。（分煙は効果がないので義務化せずに=盛り込まずに）（受動喫煙は、個人の回避努力やマナーでは防ぎえないのですから、法・条例制定による禁煙ルールで抜本的に防止されるべきです。）</p> <p>4. 飲食店やサービス業界等に、受動喫煙の健康リスクの以下のような明示の義務づけも必要で有効かと思えます。</p> <p>(1)「環境中たばこ煙（受動喫煙）は非喫煙者、とりわけに子ども・未成年者・妊産婦に害を及ぼします。」</p> <p>(2)「受動喫煙のリスクのある場所に子ども・未成年者・妊産婦及び非喫煙者は立ち入らないでください。立ち入らせないでください。」</p> <p>(3)出入口などに「子ども・未成年者・妊産婦及び非喫煙者の出入りはしないでください。」</p> <p>5. 2015年6月の厚生労働省の保健医療ビジョン2035提言では、2035年のビジョンを実現するためのアクション(27ページ)2035年に目指すべき姿(4)「たばこフリー」社会の実現 喫煙予防への介入は、疾病や死亡のリスクの減少や介入の費用対効果に関する科学的根拠が確立している。WHOは、2040年までに「たばこのない世界」の実現を掲げているが、我が国は、その前倒しを図り、2020年の東京オリンピック開催までに、受動喫煙のない「たばこフリー」オリンピックを実現することを目指す。このため、東京都と連携し、そのための法的整理を速やかに行う。</p> <p>また、2035年までの早期に喫煙者自体をゼロに近づけるため、たばこ税増税、たばこの広告・パッケージ規制、喫煙者に対する禁煙指導・治療、子ども防煙教育のさらなる促進などのあらゆる手段を講ずる。</p> <p>として、本提言をもとに厚生労働省内に実行推進本部が既に設置され、実行可</p>	

No.	ご意見等	本市の考え方
	<p>能な短期の施策から着実に実施されつつあることからして、これらのビジョンとの連携・連動をよろしく願います。</p> <p>6. また、2014/7/22に閣議決定された「健康・医療戦略」、及び「日本再興戦略」改訂2014（2014/6/24閣議決定）、改訂2015（2015/6/30閣議決定）において、「国民の健康寿命を1歳以上延伸」が2020年までの達成目標として掲げられていることから、上記に述べた喫煙・受動喫煙の危害対策は、中長期的に健康寿命の延伸に大きく寄与することでしょう。</p>	
11	<p>仙台は海、山とも近くに存在し、「健康・日々のいやし」が輕易に出来そうだが車を持たない者にとってはそうではないので地下鉄のみならず交通手段に力を入れるべきと思う。</p>	<p>「戦略プロジェクト（7）多様な暮らしを支える生活環境づくり」において、多様なライフスタイルやライフステージに対応した快適に暮らせる都市住環境づくりに向けて、あらゆる交通手段の有機的な連携に向けた取り組みを進めることとしております。</p>
12	<p>29 ページ（7）の生活環境づくりの中で、「交通手段の有機的な連携推進」が挙げられていますが、「有機的な」を実現するためには、料金体系をより利用しやすい価格にしていく努力が欠かせないと思います。利用者があるこそ交通行政です。若い世代の定着や、高齢者福祉の観点からも、コスト削減の努力等も盛り込んだ、料金設定に向けた不断の取り組み継続をお願いします。</p>	<p>「戦略プロジェクト（7）多様な暮らしを支える生活環境づくり」の「○快適な都市住環境づくりに向けた交通手段の有機的な連携推進」を進める過程におきまして、具体的な取り組みの参考とさせていただきます。</p>
13	<p>高齢化世代だけでなく、昔ながらの商店が廃業し、郊外の大型スーパーの不便さを実感している世代もありますので、身近な商店が経営できる街づくり、例えば地下鉄駅周辺に商店を集約し通勤通学客の利便性を図りながら、経営の継続もできることも考えて欲しいものです。</p>	<p>「戦略プロジェクト（8）地下鉄沿線を舞台とした活力を創出するまちづくり」において、多様化する市民ニーズにあった利便性と快適性の高い市街地へ改編し、まちの活力を維持・創出することとしておりますが、「戦略プロジェクト（7）多様な暮らしを支える生活環境づくり」の「○多様な居住ニーズに合った住環境の維持・創出」においても、地域商店街への支援等を通じた地域の魅力づくりを進める趣旨の記述を追加いたします。</p>
14	<p>東北の中心としての位置づけ 商業を含む経済機能としての役割が古くから云われています。今後、新幹線、高速道路網とともに情報化社会の進展から、むしろ、仙台市を拠点化とすることからの撤退、所要社員等の減少なども考えられるところです。</p> <p>中心部の駐車料金の高騰に伴う周辺地域への移転も一巡し、むしろ進出しにくい面も内在しているものと思われまます。</p> <p>この点から、各種交通網と連携させた情報化に対応したビルを集約地域の整備など、経済機能を有効に生かす地域づくりも考えて欲しいものです。</p>	<p>「東北を支え広く交流する活力の都」を実現するため、地域産業の飛躍や交流人口の拡大を図るとともに、地下鉄東西線により新たに生まれる都市軸において、地域特性に合わせた整備と機能の集積、活性化を図るため、基本計画に基づいて様々な取り組みを推進しております。ご指摘の内容は、今後の具体的な取り組みの参考とさせていただきます。</p>

●全般・その他に関するご意見（５件）

No.	ご意見等	本市の考え方
15	何故 リトル東京を目指すのか 背のびしなくて良い。	本市は、これまで培ってきた都市の個性を市民との協働により発展させた姿として「誰もが心豊かに暮らし続けることができる都市、『ひとが輝く杜の都・仙台』」を目指し、基本計画に基づいて様々な取り組みを推進しております。今後も東京の模倣ではなく、仙台の個性をより一層磨いていくべく、ご意見を参考に組み込んでまいります。
16	当「重点化中間案」については、東日本大震災後の状況を踏まえ、仙台市の将来に対する取り組みを集約したものとして、多面的に検討されており優れたものと、策定に当たられた皆様の熱意を感じます。	今後、市民の皆さまからいただいたご意見を参考に政策重点化方針2020をとりまとめた上で、実施計画等によって具体的な施策に取り組んでまいります。
17	<p>地理的に見た仙台市の姿・イメージづくり</p> <p>被災者を含む住まいの面、経済・農業面、都市基盤、安全安心対策等、多面的に取り組む、それぞれの目的に応じた対策があるものの、全体的に仙台市の姿・イメージが持ちにくく感じられました。</p> <p>空から見た仙台市は、住まいの環境整備に取り組んだ住宅地、公共設備、保育所など子育てしやすい施設の配置、コストパフォーマンスにも配慮して集約され、さらには観光地としての機能も備えた地元伝統産業地域、地下鉄・市内循環観光バスも活かした街づくりのイメージを作って欲しいと考えます。</p>	今後、政策重点化方針2020を市民の皆さまに周知する際にイメージを伝える工夫を検討いたします。
18	仮設住宅の長期化から、仙台市への定住者は今後ますます増加するものとも考えられます。このことは、仙台市の生活環境の良さにあるものといえますが、反面地価・家賃、住宅の価格高騰を招いていることも事実と考えられます。	震災後の人口動向や市街地の状況、さらには人口推計の結果も踏まえながら、多様な暮らしを支える魅力的な生活環境の実現に向けて具体的な施策を検討する際の参考にさせていただきます。
19	<p>役割分担の想定</p> <p>重点化方針の実行に当たり、国（財政面・人的支援）、県・市（実行組織の新設・既存組織の活用等）、仙台市民（増税負担、町内会の活用など）の各層に何を求めるかという点にも踏み込んで欲しい。</p>	政策重点化方針2020を踏まえた取り組みの推進にあたりましては、これまでも増して多様な地域の方々が力を発揮、連携できる環境づくりや市役所の局・区連携や区役所機能の強化など、戦略的な取り組みを重点的に展開することとしております。ご指摘の内容は、今後の都市経営に関わる具体的な取り組みの参考とさせていただきます。